



Accessibility  
Consortium  
*of*  
Enterprises

# コロナ禍における働き方 調査結果報告



**目的**：コロナ禍における障害のある社員の働き方の変化を調査し、課題解決のための提言を行う

**調査期間**：2020年10月20日-11月9日

**調査方法**：ACE会員企業(37社)に勤める障害のある社員へアンケート調査

**回答数**：657

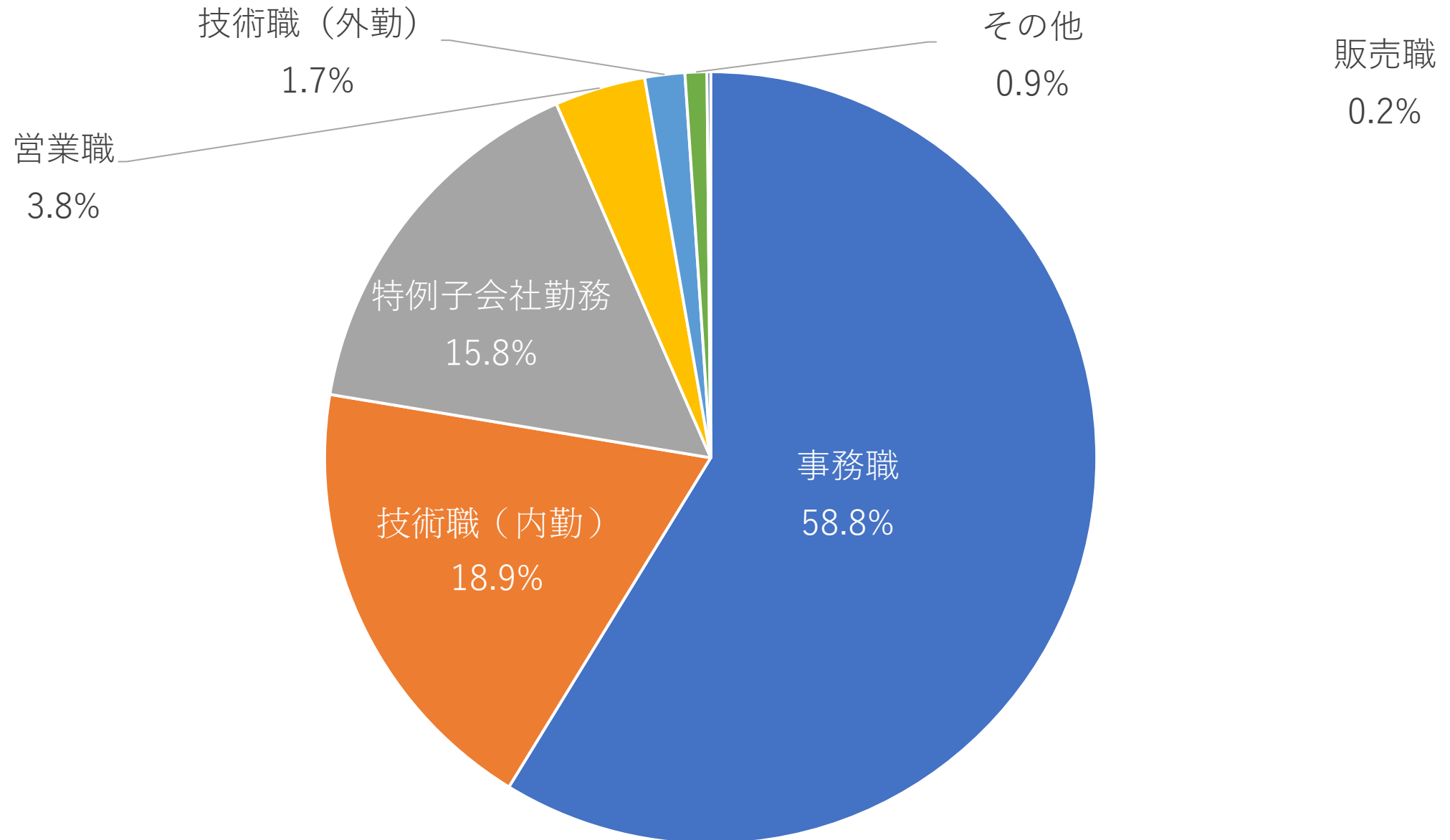


# 質問内容

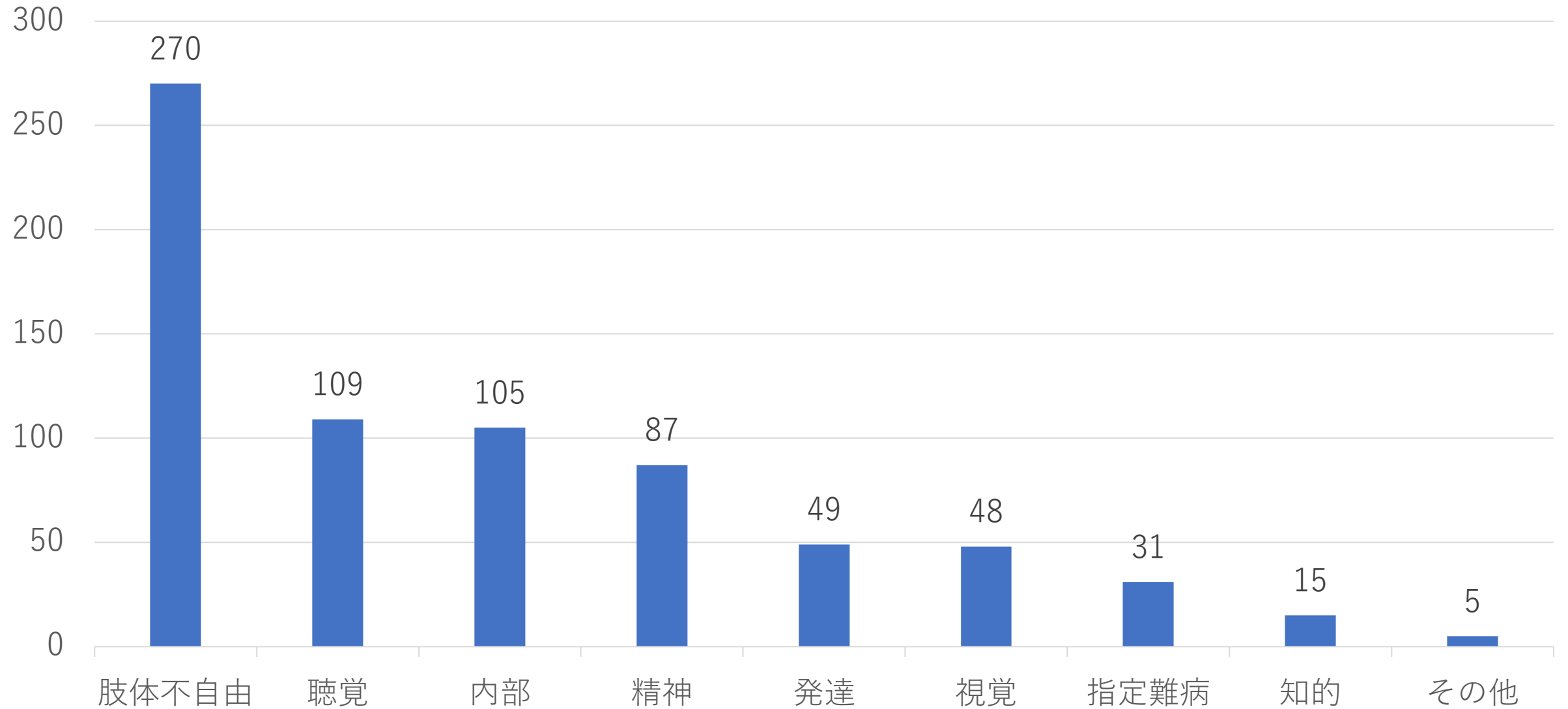
- 1 - 1. あなたについて：担当職種／障害の情報
- 1 - 2. 障害についての情報（複数選択可）
2. 新型コロナ・ウィルスの流行に伴う働き方の変化について
3. 新型コロナ・ウィルスの流行に伴う入社/勤務中の問題点（複数回答可）
- 4 - 1. 在宅勤務をしましたか？
- 4 - 1. 在宅勤務の良かった事、困った事（実施者のみ複数回答可）
- 4 - 2. 在宅勤務中に工夫したことはありますか（任意）
- 5 - 1. ICTツールの活用について：良かった事、困った事（複数回答可）
- 5 - 2. ICTツールの活用について工夫したこと（任意）
6. ウィズコロナ時代の働き方について希望することはありませんか（複数回答可）



# Q1-1. あなたの担当職種について

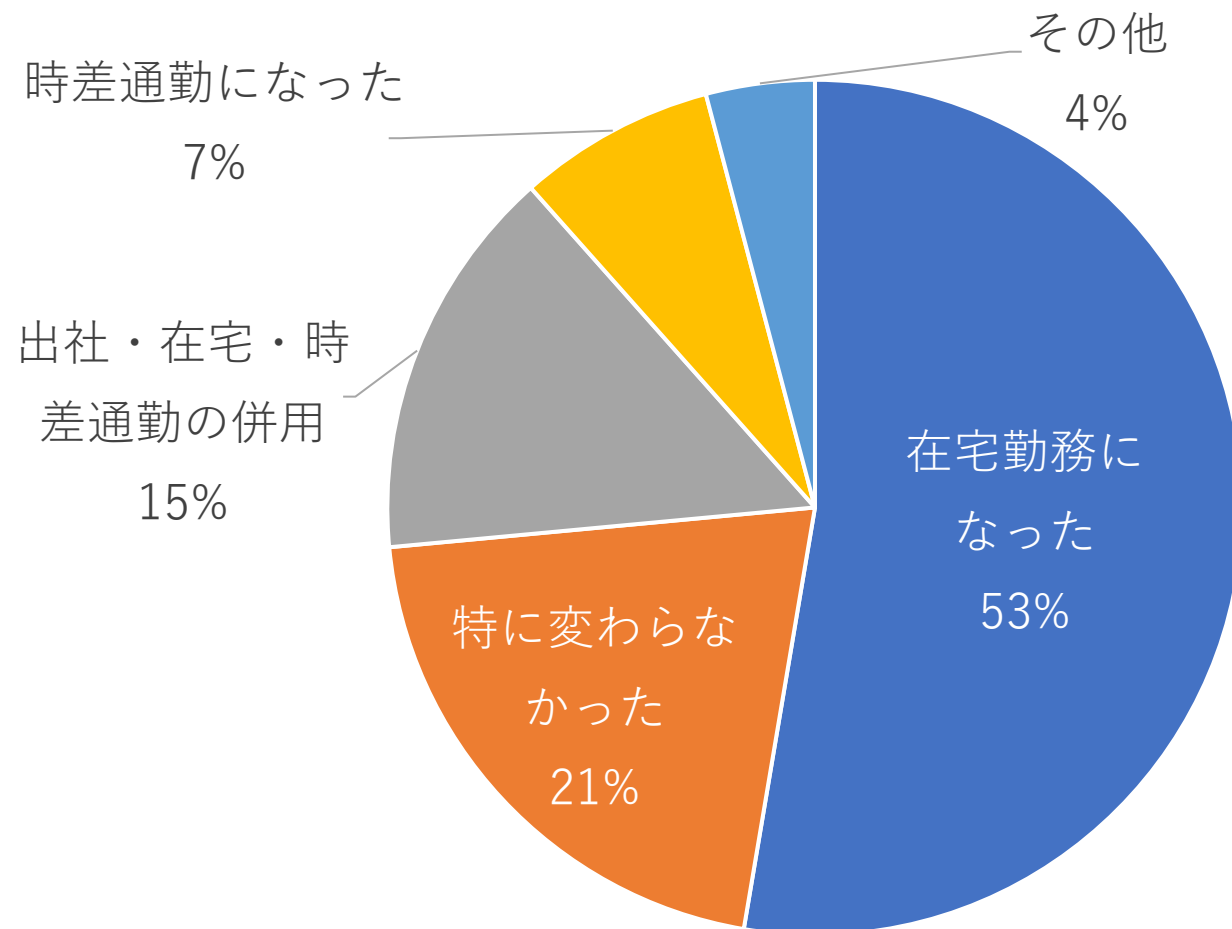


## Q1-2. あなたの障害についての情報（複数選択可）



## Q2. 新型コロナ・ウィルスの流行に伴う働き方の変化について

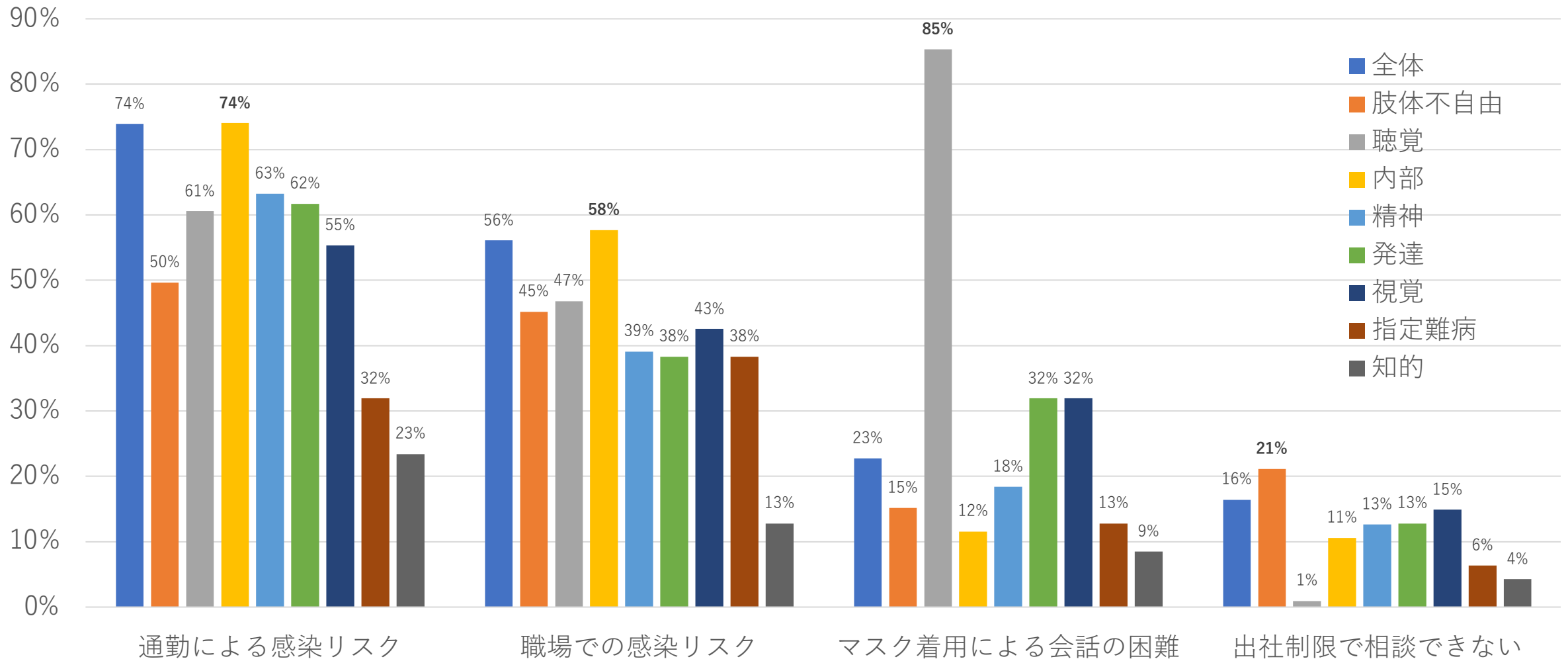
- 併用を含め、「在宅勤務」「時差通勤」になったとの回答が多数（特に、緊急事態宣言期間）
- 一方で「特に変わらなかった」「その他」との回答も約25%



※その他  
自宅待機、シフト勤務、  
オフィスの密解消  
自動車通勤許可 等々

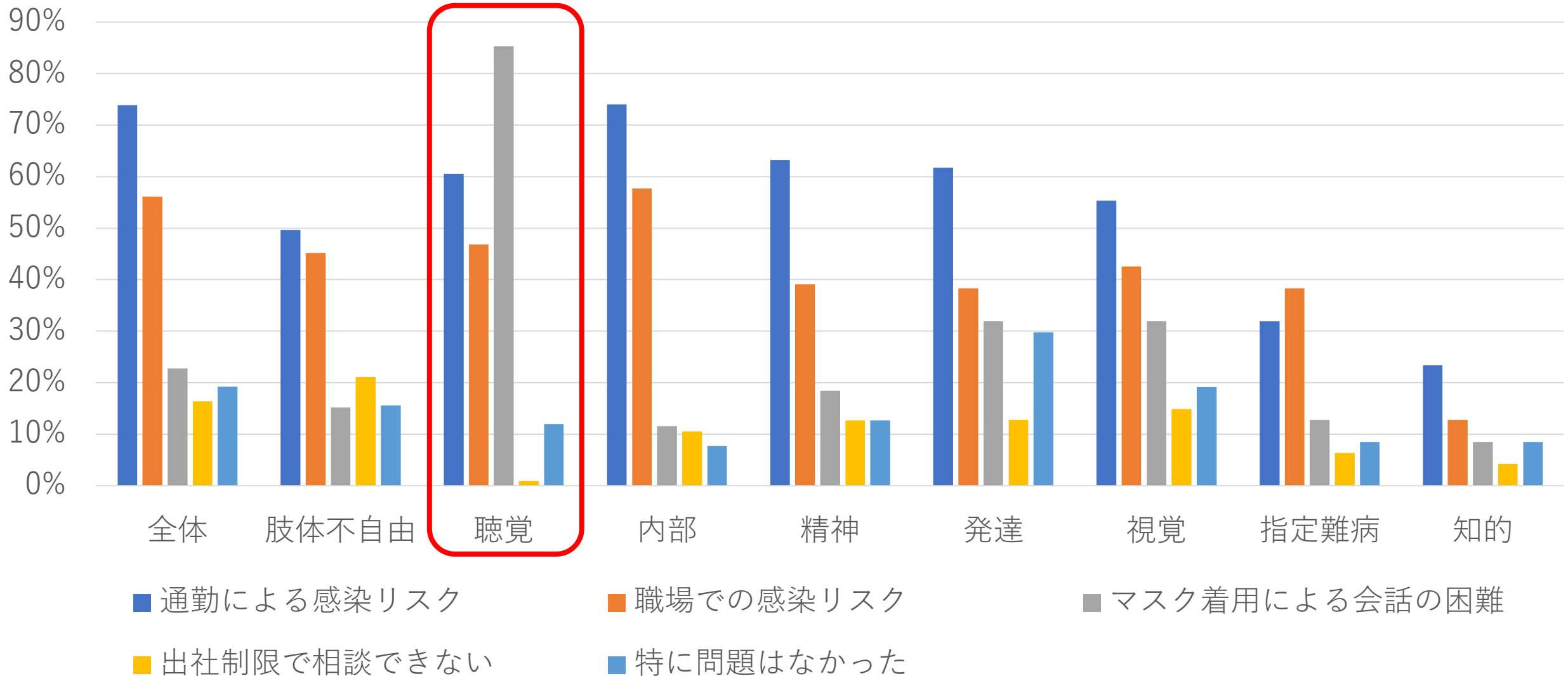
### Q3. 新型コロナ・ウィルスの流行に伴う出社/勤務中の問題点（複数回答可）

- 全体として、「通勤・職場」含めて「感染リスク」への懸念が大きい。（特に「通勤」時）
- 聴覚障害のある方は、ほとんどの方が「マスク着用による会話の困難」を回答（85%）



### Q3. 新型コロナ・ウィルスの流行に伴う出社勤務中の問題点（複数回答可）

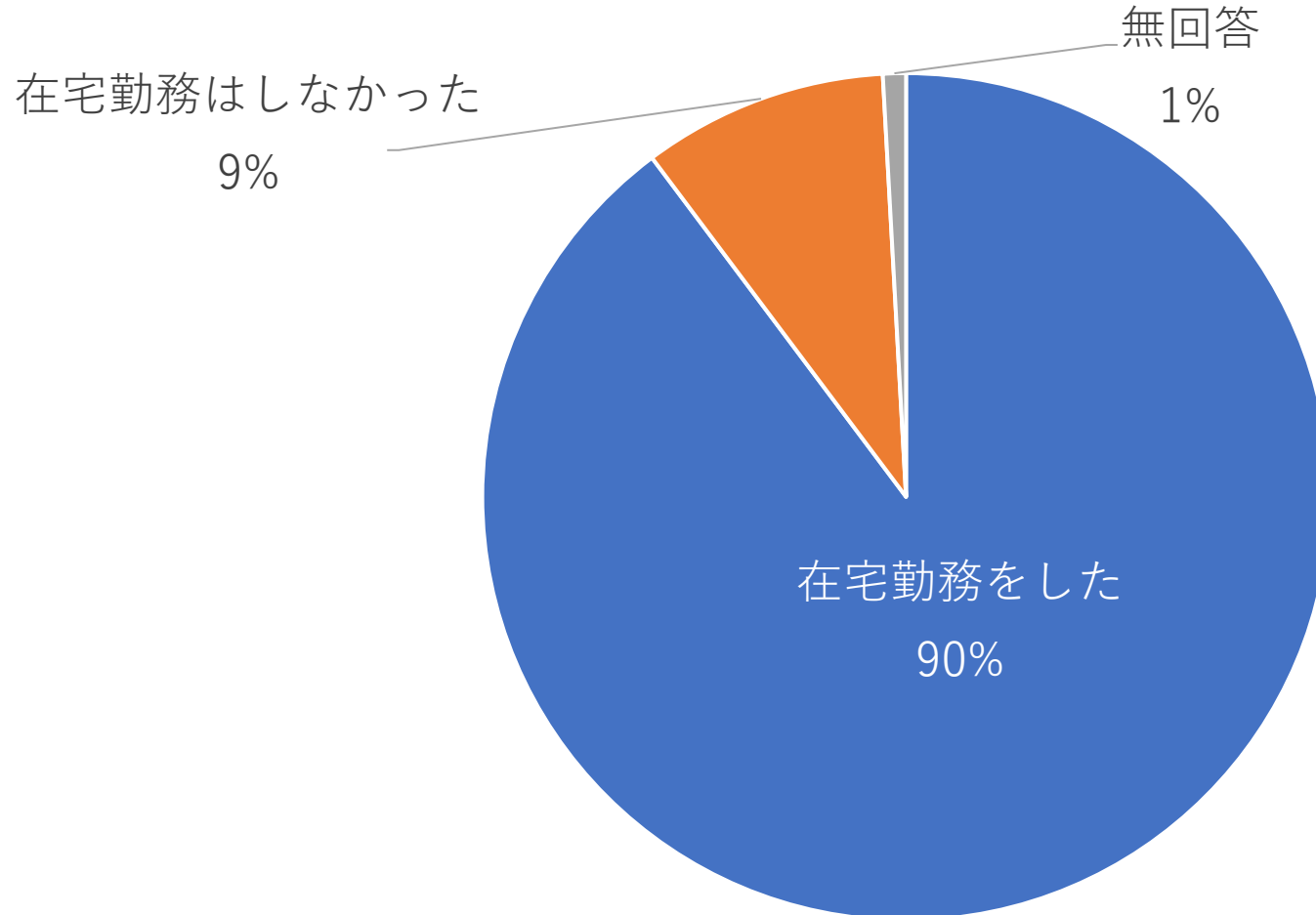
- 全体として、「通勤・職場」含めて「感染リスク」への懸念が大きい。（特に「通勤」時）
- 聴覚障害のある方は、殆どの方が「マスク着用による会話の困難」を回答（85%）





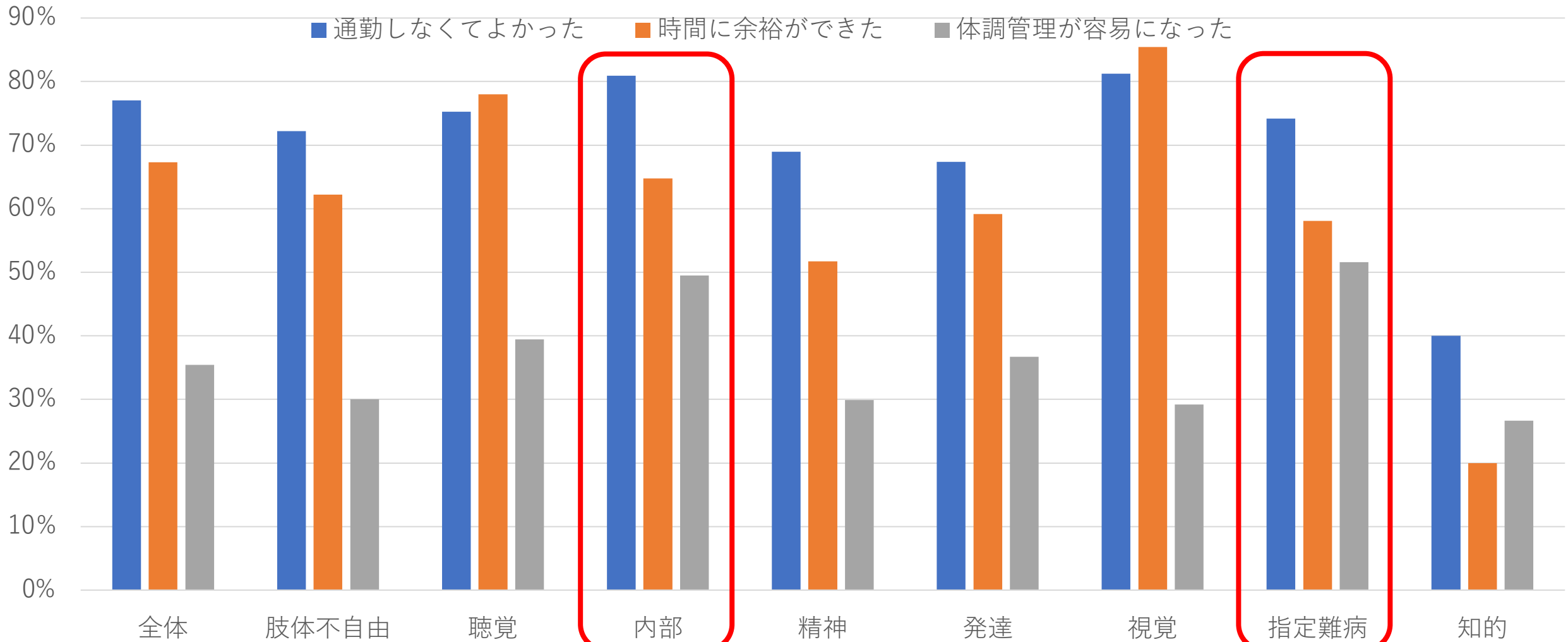
## Q4-1. 在宅勤務について

■ この期間、在宅勤務を経験した人は9割



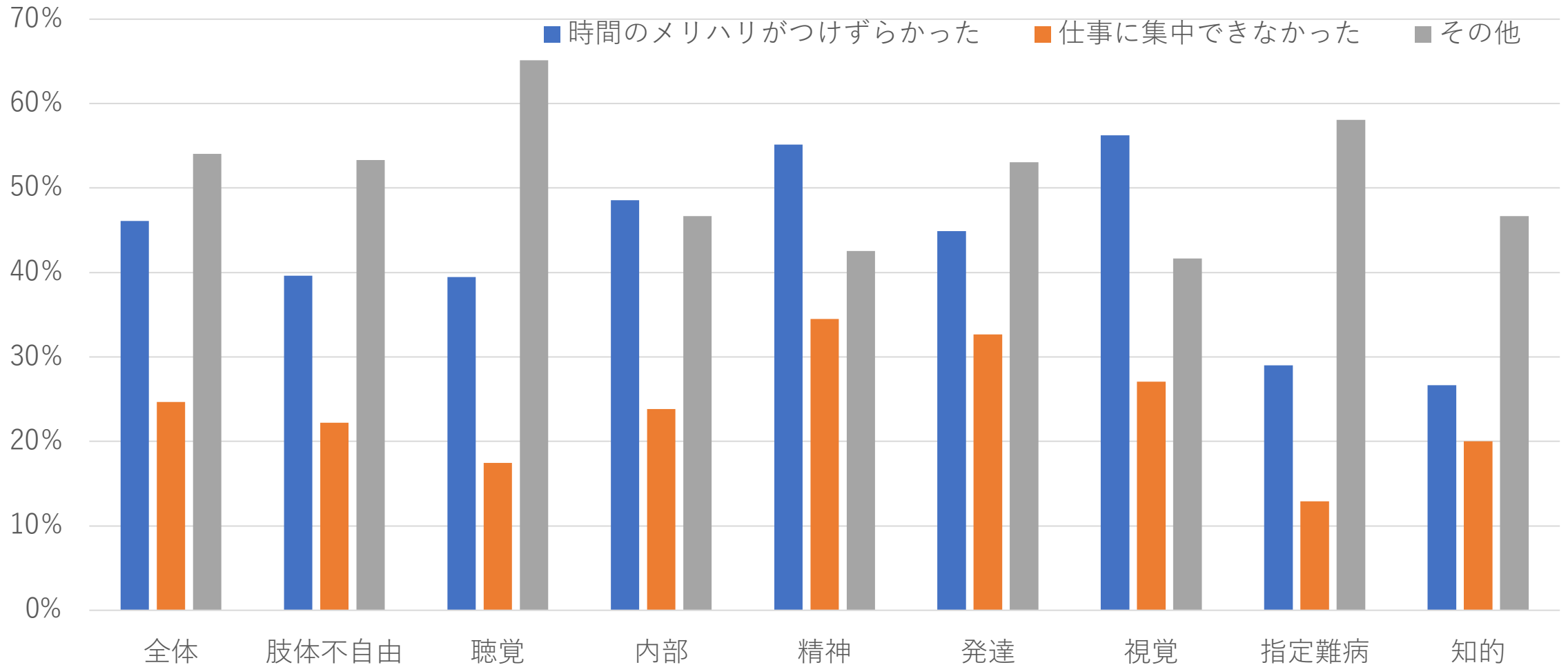
## Q4-1①. 在宅勤務の良かった事（在宅勤務をした方のみ複数回答可）

- 「通勤しなくて良かった（感染リスクに対する安心感）」 「時間に余裕ができた」 の回答が多数
- 「体調管理が容易になった」 の回答は、内部・指定難病の方で約50%と、他と比較すると高い



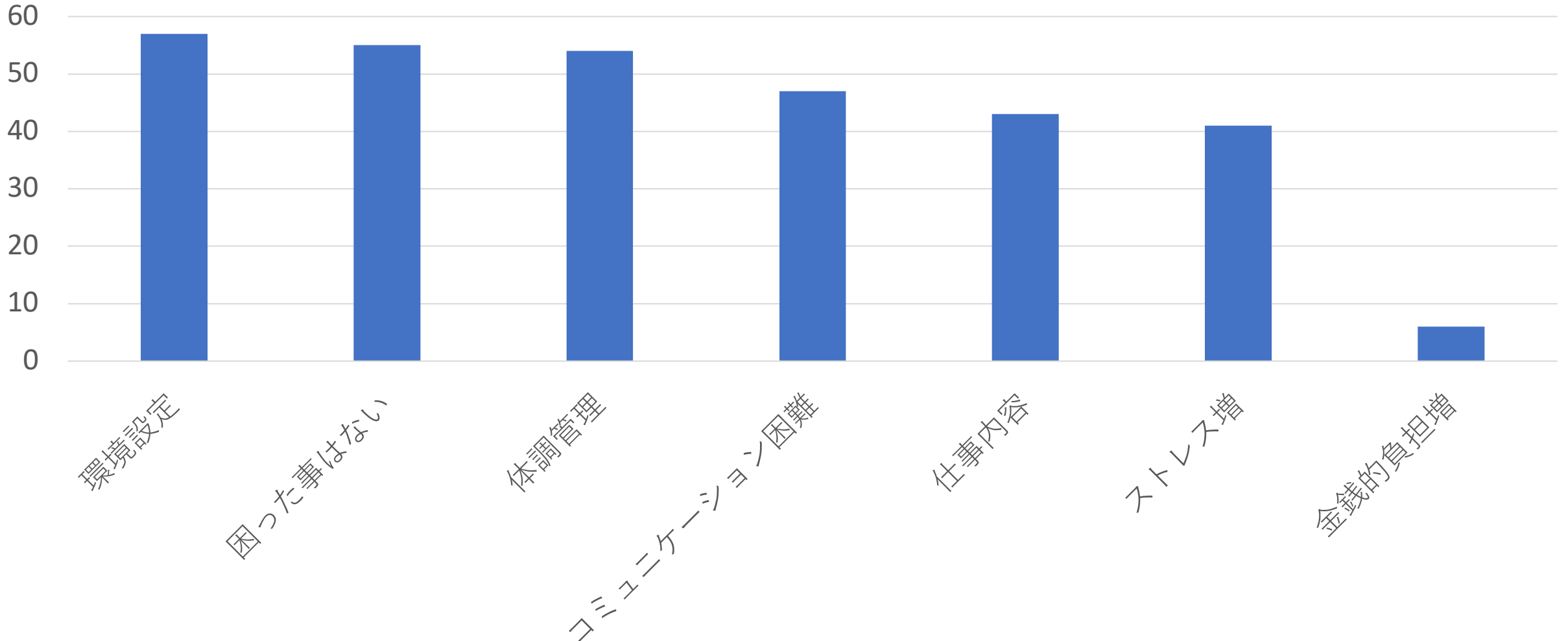
## Q4-1②. 在宅勤務で困った事（在宅勤務をした方のみ複数回答可）

- 半数近くが「時間のメリハリがつけづらかった」と回答
- 一方で「その他」の回答が50%を超え、困った事の内容は多岐にわたる（次ページ参照）



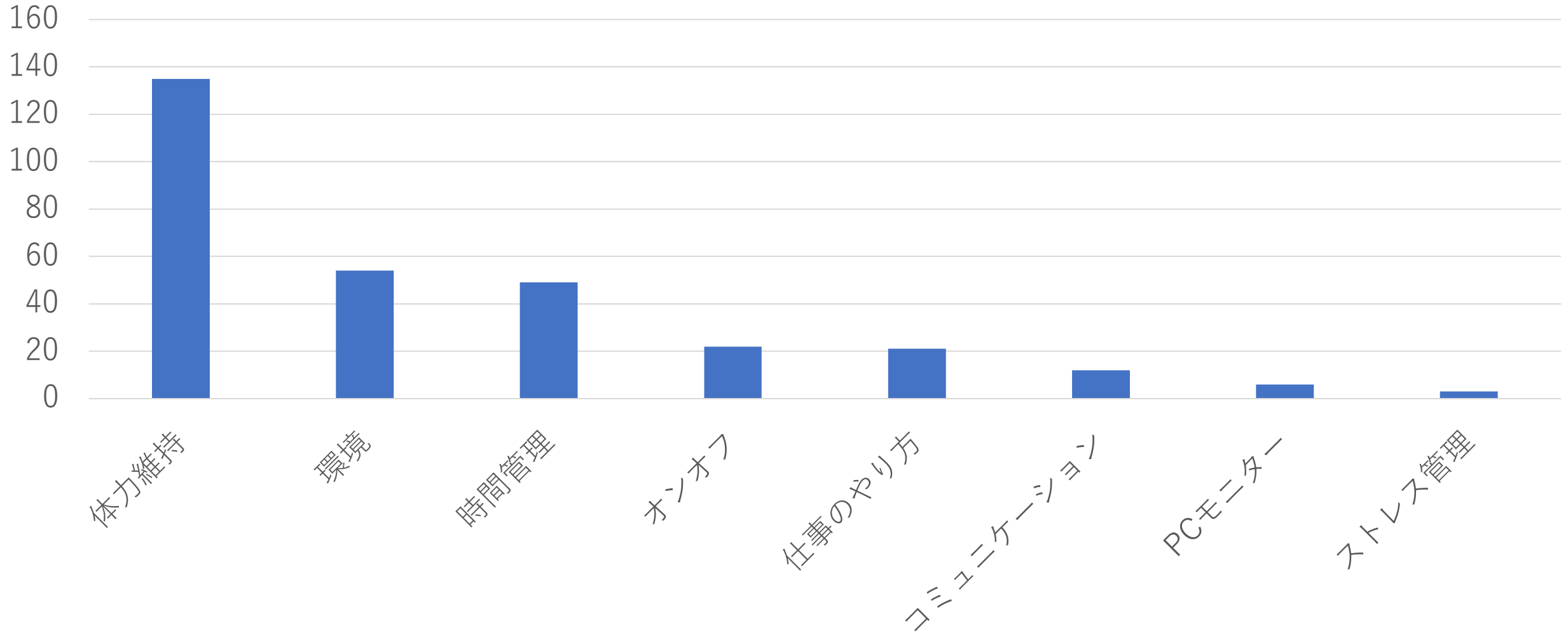
## Q4-1②. 在宅勤務で困った事「その他」の主な内容

- 業務のための「環境設定」を筆頭に、「体調管理」「コミュニケーションの困難」「ストレス増」などが顕著
- 一方で「困ったことはない」の回答も一定数ある（従来から在宅勤務を行っていた方中心と思われる）



## Q4-2. 在宅勤務中に工夫した事がありますか？（記述式自由回答）

- 「体力維持」についての回答が顕著に多い
- その他、「仕事環境」「時間管理/オン・オフ」「仕事のやり方/コミュニケーション」関連の回答が多数



## Q4-2. 在宅勤務中に工夫した事がありますか？

### <体力維持>

通勤がない分、運動量が落ちたという意見多数

- 筋トレ・ウォーキング・ストレッチ
- 食事のコントロール（体重が増えないように、免疫力UPのため）
- ★ 家で体操をしていたら義足に負荷がかかり故障してしまった。外を歩くなどの方が良かったかも。

### <仕事環境>

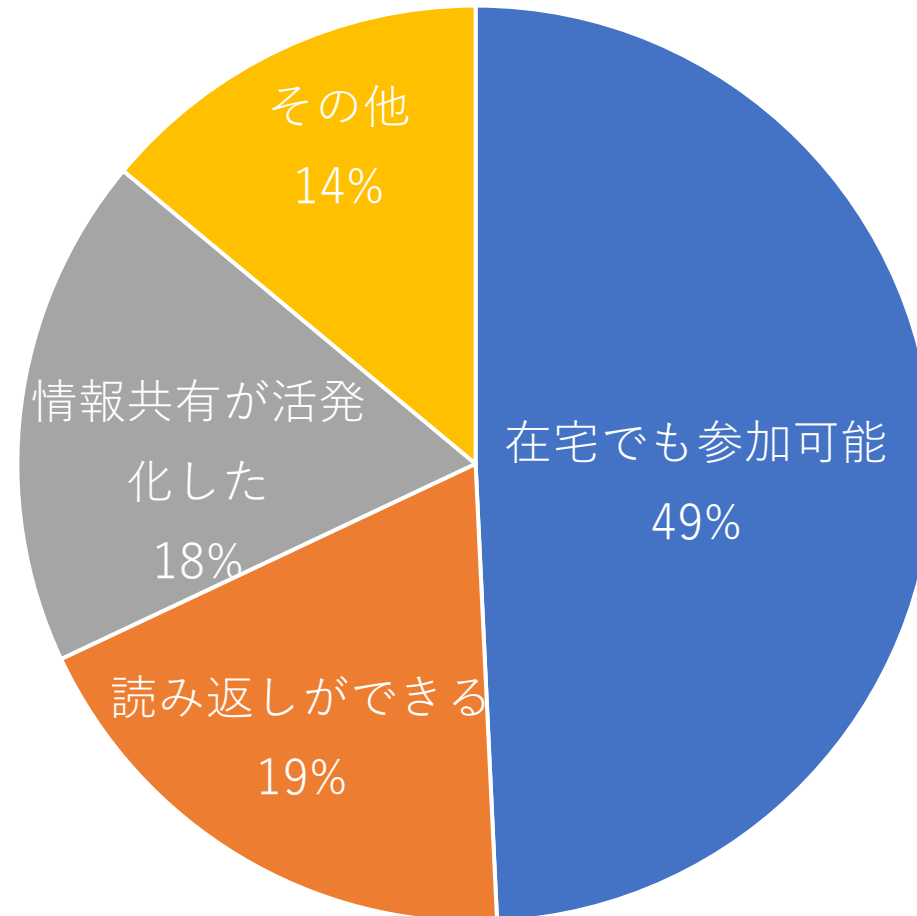
- スペース確保（仕事部屋を作った、PC用の机や椅子を購入した）
- ネット回線の切り替え（TV回線と電話回線の2重化）
- ディ스플레이増設
- ★ 部屋の照明を変えた、スマホと補聴器が繋げられる機種に変えた

### <その他>

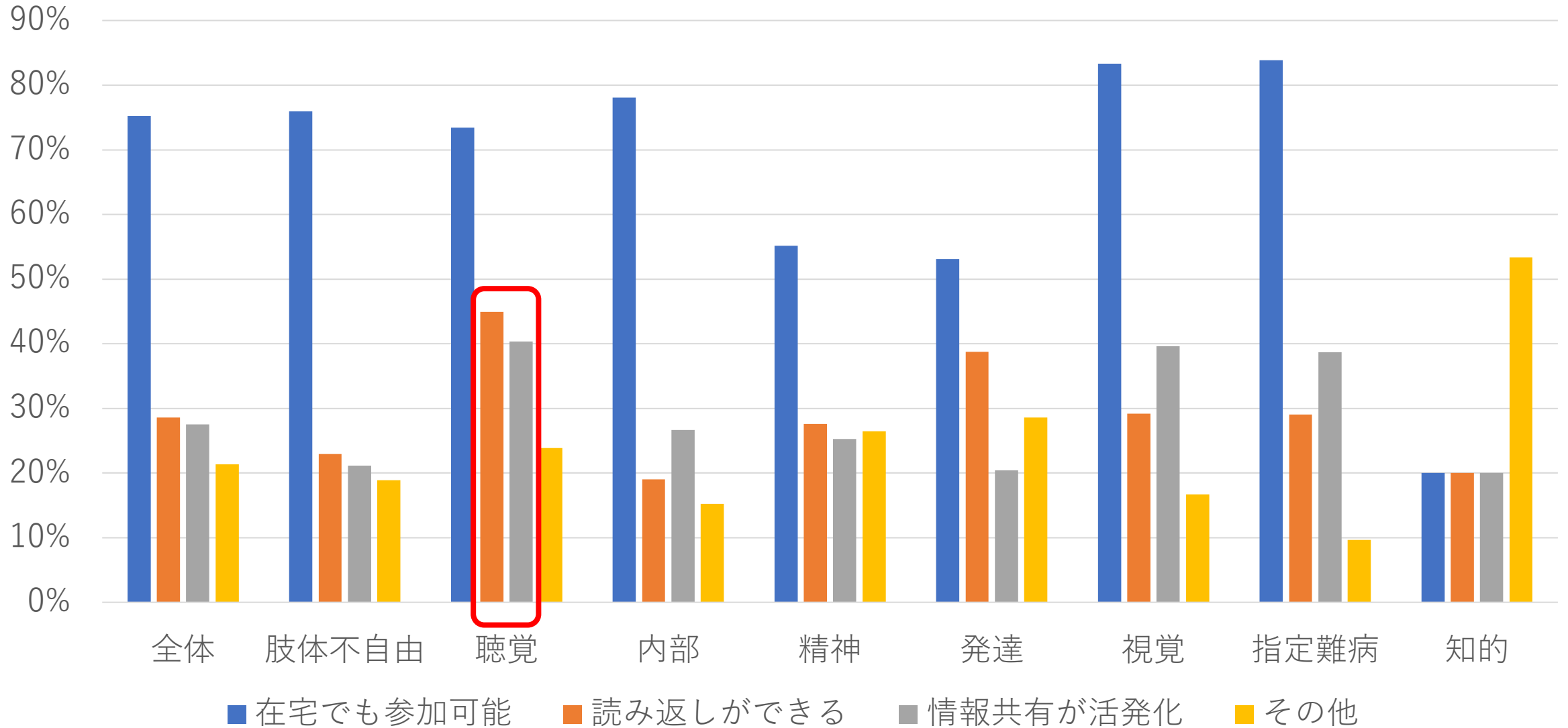
- ★在宅勤務になってから、何気ない雑談が皆無になったので、あえて雑談コーナーを作り、皆でふと思うことなどをチャットを使ってコミュニケーション向上に努めたこと。

## Q5-1. ICTツールの活用について ①良かった事

- 「在宅でも参加可能」の回答が半数、続いて「読み返しができる」「情報共有が活発化した」がほぼ同数
- 「その他」の回答も、時間・場所の制約からの解放や、情報取得の正確性の向上などが多数



# Q5-1. ICTツールの活用について ①良かった事





# Q5-1. ICTツールの活用について ①良かった事

## オンラインツールの活用は、聴覚障がい者の仕事の生産性を向上

チャットツールで聞きたいことが聞きやすくなった

在宅勤務は、マスクを付けずにオンライン会議ができ、口の動きが読み取れる

チャットで普段相談できない人に相談することができたり、音声よりも理解しやすかった

コミュニケーション手段がメールになり、聞き漏らしの心配がなくなった

チャットグループで会話記録も見られ、疎外感から解放された

コミュニケーションが文字ベースとなり聞き取る際のストレスが軽減した

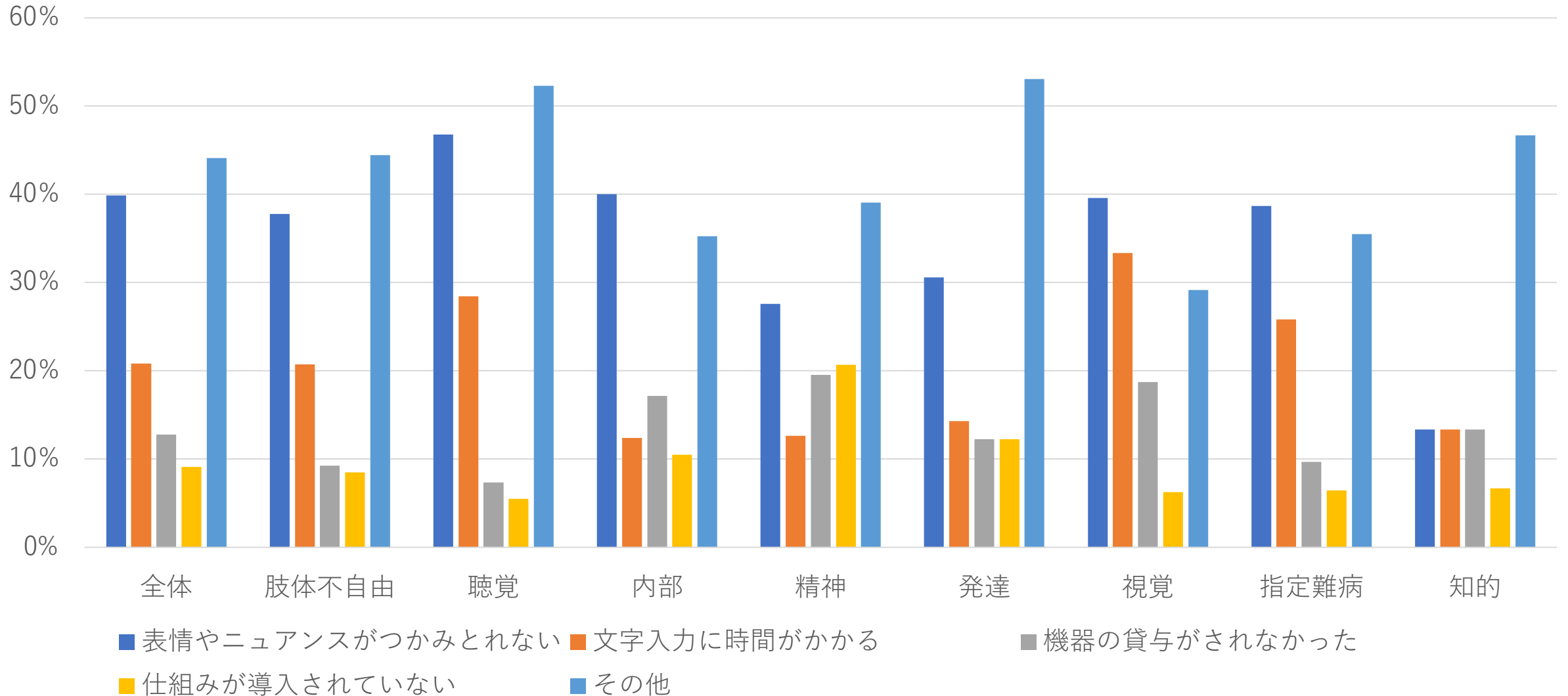
イヤホンでの会議は通常の会議よりヒアリングしやすかった（難聴のため）

今まで代行電話をお願いしていたが、直接チャットで連絡とれることでスムーズにやり取りが出来た。履歴が残るので、勘違いや聞き間違いが減り、仕事が進むことができる。

在宅勤務時のみならず、チャットツールやオンライン会議の導入は、通常のオフィス勤務でも活用すれば、聴覚障害のある社員にストレスをためず、明確な情報伝達が可能になる

# Q5-1. ICTツールの活用について ②困った事

- 「表情やニュアンスがつかみとれない」が、聴覚に限らず多い
- 「その他」内容は多様だが、「通信環境」「音声品質」「タイムラグ」など、ネット環境による困難が多数



## Q5-2. ICTツールの活用について工夫した事がありますか？

### <ツール>

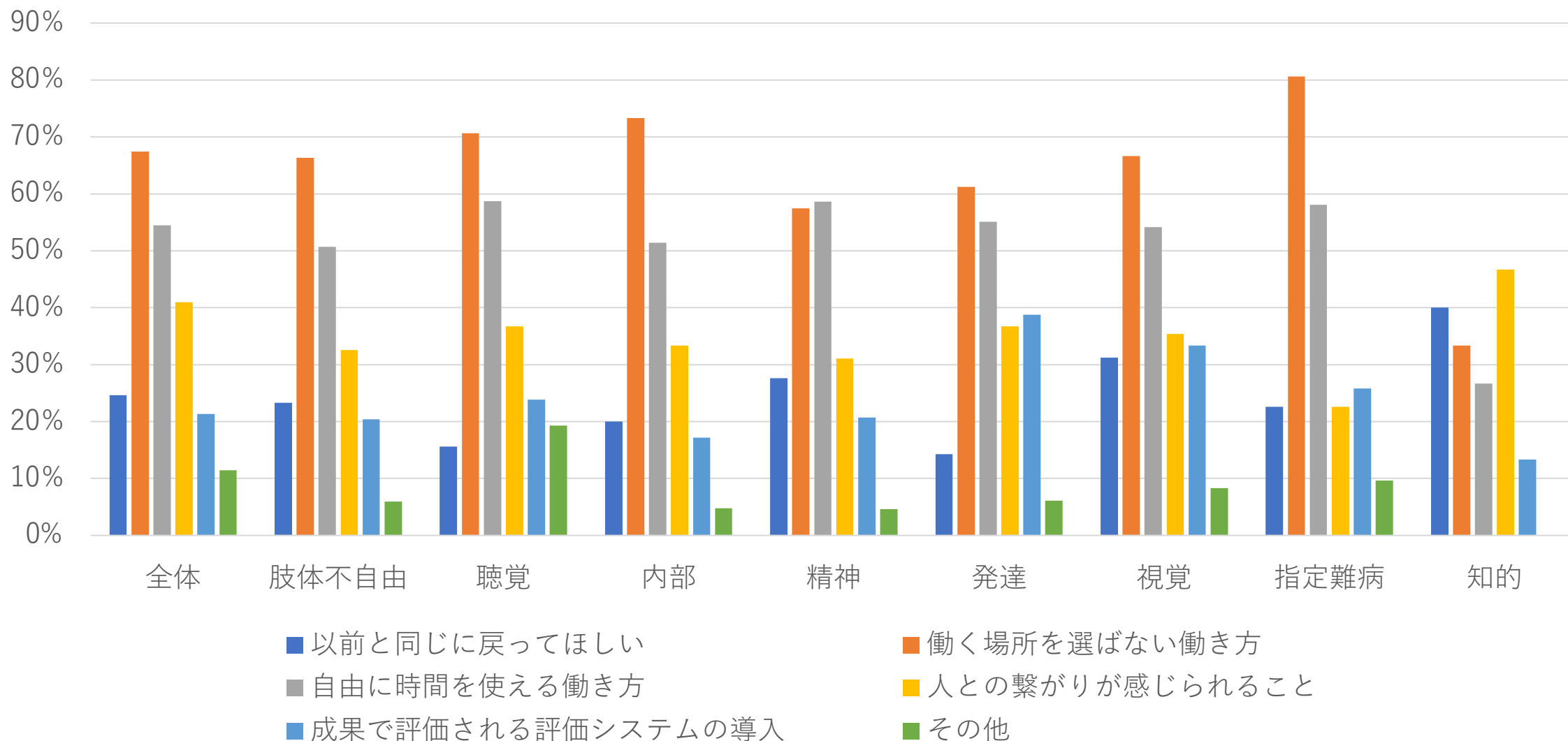
- オンライン会議時のUDトーク使用
  - ・ iRrig（アンプ）を繋いでUDトークを利用した。
  - ・ オンライン会議時にはBluetooth機能のあるスピーカーを使用した。  
（UDトークでの変換率はスピーカー無しよりは集音感度が良く改善される）
- 会社の研修でJamBoardという付箋ツールを教えてもらい、個人のセミナー活動時にも利用している
- Office 365の積極活用
- PCを会議端末と資料閲覧用2台使用することで、円滑な会議参加ができた。
- パソコンの内蔵スピーカーだと音が小さいので、外付けのスピーカーで対応。
- iPhoneと接続できる補聴器を使用しているため、オンライン会議は問題なくできた

### <チャット>

- テレビ会議よりチャット機能のほうが良かったです。私に対してのコミュニケーションはチャットになりますが、大勢になると音声中心になって困ることがあります。
- チャット等には極力コメントをしたり、リアクションマークを付けることにより、他人の発言が取り残されるのを防いだ。

# Q6. ウィズコロナ時代の働き方について希望することは？（複数回答可）

- 「場所を選ばない」「自由に時間を使える」働き方への希望が多数。
- その中で「人との繋がり」の回答が40%以上。「以前と同じに戻ってほしい」は25%程度。



## Q6. ウィズコロナ時代の働き方について希望することは？ （「その他（記述）」の主な回答内容）

### <柔軟な働き方>

- 障がいの有無に関係なく、個人の体調や家庭の状況に合わせて出勤か在宅勤務かを選択できると良い
- コロナ禍を通じ、出社する良さ、テレワークの良さ双方に気づきがあった。  
ICTツールの発展段階にあわせ、良いところ取りで継続していけばよいと思う
- サテライトオフィスで働きたい      ■ 副業等で自分の可能性を見いだせる環境が必要

### <ツールの充実>

- 会社と同じように業務ができる、リモート環境を整えたい
- 情報保障の充実化      ■ テレビ会議で字幕を付けてほしい

### <コミュニケーションの活性化／理解促進>

- 新人や新メンバーが、人脈を作る機会を作ること      ■ 独りぼっち感（孤独感）を無くす
- いろいろな働き方、考え方に対する周囲の理解醸成
- コロナになり、同調圧力が強くなり監視されているような気分（プライバシーには干渉して欲しくない）

### <書類・捺印>

- 書類の多さ、煩雑さ、捺印業務の多さを今後改善して欲しい

**障害のある方の困りごとに目をむける**



**社員のエンゲージメントを高める**

**人生100年時代における働き方への気づき**



**少数意見を切り捨てない**



**「障害の社会モデル」への挑戦  
SDGsの実現**

**個社では解決が難しいことも、  
ACE会員企業同士の協働で社会に貢献していく**





Accessibility  
Consortium  
*of*  
Enterprises

# コロナ禍における働き方 調査結果報告

